

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援コチュカ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 12日 ～ 令和8年 1月 24日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日 ～ 令和8年 2月 7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	パーテーションを使って小分けされている個室と小集団の部屋とがある為、小集団活動と個別の支援が行いやすい環境となっている。小集団の活動に入るのが難しい利用児に関しても個別の部屋でまずは事業所や職員に慣れてもらいつつ、ゆっくりと安心できてから集団の輪に入れるように支援をする等ができる。	午前と午後の部に分ける事で年齢が上になり、園の行事等が増えてくる年齢の子ども達も行事に参加しつつ、療育での支援を受けられるようにしています。	隙間時間に職員が読める療育に関係したコラム等を定期的に発信し、支援の質の向上に繋げられる様に取り組んでいます。
2	基本は保育士、児童指導員の職員のみ雇用をしているが、外部講師として月に数回、若しくは週に数回、OT,ST,CPに来てもらい活動の様子を見て貰い職員へのアドバイスや、ツールを使った検査なども行っている。年数回ではあるが現在利用中の児童に合わせた研修等も行い支援の質の向上に繋げています。	曜日毎に利用児を分け、子ども達の特性に合わせた小集団活動が行いやすいようにしています。	
3	午前と午後に分ける事で同じ時間帯に利用する児童数を少なめに調整できるので、一人一人の児童に対し職員も一人ずつ支援を行うことが出来る。また保育園や幼稚園などの関係機関との情報共有を密に行っている。	スプレッドシートを活用した記録を行う事でいつでも記録を確認し、どの職員でも継続した支援が行えるようにしています。記録も画像や動画を用いる事で事業所での児童の様子を見られるので保護者の方たちも安心して利用ができるようにしています。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアトレやペアプロを行える職員がいない事。ペアトレの研修を受けて貰ったがもっと時間をかけて習得して貰う必要があると感じている。	年間を通して義務化された物が多く、療育のスキルを上げる為の研修などを開く事が難しくなっている。行うためには事業所を休みにして行う等しなくてはならず難しいと感じている。	年間を通して数日だけサービス提供を休み、研修と事務作業等をすすめる日を設けるなどして職員の時間外労働の削減を計りたい。
2		義務化された物が増えた事により職員の事務量の増大とそれに伴い時間外勤務が増えた事。	
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援コチュカ

公表日 令和8年2月17日

利用児童数 2 1 名 1 9 回収数

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	0	0	0	*子どもが活動しやすい十分なスペースが確保されていると思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	0	*職員の配置は適切で安心して利用できています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1	0	0	*子どもたちにとって解り易く過ごしやすい環境だと思います。	*賃貸という都合上手図を付けたりエレベーター等の導入は難しいのですが活動中の姿勢の維持ができるように道具を使う、気持ちの切り替え等ができるようにタイムスケジュールを絵カードを使って行う等の工夫をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	0	*清潔で落ち着いて過ごせる環境が整っていると思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	0	*子どもの特性を理解した支援が行われていると思います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	0	*説明されている支援内容と実際の支援にズレはないと思います。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0	*子どもや保護者の状況を踏まえた支援計画がされていると思います。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	0	*支援計画は分かりやすく内容も適切だと感じます。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0	*支援計画に沿った支援が行われていると思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	0	0	0	*活動内容に工夫があり固定化されていないと感じます。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	2	5	*保育所と事業所の方と実際に話す機会を設けていただきました。 *いつもLINEや写真で教えていただけてありがたいです。家族での支援の参考になります。	*町内会の夏祭りイベントや、公共施設や公園での活動時に地域の子供や幼稚園で散歩にきている子達との交流があります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1	0	0	*丁寧で分かりやすく説明していただきました。	*登録の時に説明の時間を設けてはありますが、またわからない事がある時はいつでもお聞きくださいな
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1	0	0	*しっかり説明していただいています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2	0	1	*保護者向けの支援や情報提供が行われていると思います。 *子供との関わり方を学ぶ機会があれば内外問わず情報が知りたい。 *保護者参加型のプログラム又は参観日等を設けて頂けると内容が具体的に解り易いと思います。 ※未回答 1	職員も含めペアレントプログラムの研修等をしていますがまだ開催等はできていません。外部で開催予定の保護者の方に向けたイベントの報せなどがあつた場合は保護者の方々にも告知したいと思います。 *保護者参加型と自宅でも遊びながら支援にもなる道具の紹介等を毎年行わせていただいておりますので次回は参加されてみてくださいな
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	0	*子どもの様子について共有できていると思います。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	0	0	*子育てや支援について相談できる体制が整っていると思います。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0	*職員の方々親身になって対応してくれています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	7	0	2	*まだそのような機会に参加したことがなくどちらとも言えないです。 *特に必要と感じていません *きょうだいがいないためこの回答です。	*父母の会を午前の部、午後の部で年に一回行っているのですが開催後に通所を開始された方等へのフォローをするように致します。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	0	0	*相談や意見に対して適切に対応して貰えています。	登録の時に相談窓口等のお話はしているのですが人員配置変更後のお知らせができていませんでしたので新年度に入り次第お知らせを再度させていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	0	*意見や要望を伝えやすい環境だと思います。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	0	0	0	*活動内容や連絡事項が解り易く伝えられています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	0	*個人情報の取り扱いについて十分に配慮されていると思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2	0	4	*必要な説明は受けていると思います。 *各マニュアルはHPで確認が出来たが訓練が実施されているかはわからなかったです。	マニュアルの確認ありがとうございます。新年度に年間スケジュールの紹介の中に避難訓練を入れてあるのですが年度途中から入った方々へはお渡しできていませんでしたので今後はお渡しするように致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1	0	4	*詳しくは把握していませんが必要な対応は行われていると思います。	年間で夏と冬の時期に行っています。年間スケジュールでお知らせできていなかった方々申し訳ありませんでした。自己評価の配布期間中に冬の火災訓練を行った時のように通の予定表や避難報告のLINE等で今後もお知らせさせていただきますね
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	1	*安全面に配慮した上で支援が行われていると思います	危険個所のチェック等を定期的に行い、活動中の移動時など子ども達の動きを想定して職員を配置するようにしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	0	*適切に対応してもらえる体制が整っていると思います。	ケガをした際は状況説明等を送迎時や連絡帳を送る際のLINE、通園されてるお子さんには園の方にもお伝えするようにしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	0	*子どもは通所して通所していると思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	0	0	0	*子どもは通所を楽しみにしている様子が見られます。 *先生方の事が大好きで送られてきた動画の声を聞いてニコニコしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0	*全体として事業所の支援に満足します。 *いつも丁寧な対応ありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援コチュカ					公表日	令和8年2月17日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーティションを使い個室スペースを作ったり、集団活動ができる広いスペースを確保するなどしています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		本来10名の定員に対し2名の職員配置基準だがそれ以上の職員を配置し、午前の部、午後の部と分ける事で1対1での個別支援を行えるようにしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		賃貸なのでバリアフリーは難しいがスケジュールの利用やイラストやパーティション等を使い部屋割りを行う等の構造化を行っています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃を行い、児童に合わせて机の高さの変更、部屋割り、椅子のタイプを変える等し、活動に集中して取り組みやすいように工夫をしています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		パーティションではあるが小さく分けられた部屋があるので個別での対応が必要となった場合でも支援ができるようにしてあります。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		行事だけでなく日々の活動や支援の後も振り返り等を行い業務の改善が行えるようにしています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価の結果を全職員に周知するようにしています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングの場を設け部屋の設定や支援の流れなど多岐に渡って業務改善を行えるようにしています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	定期的に職員でのミーティングを設け業務に支障が出ていないか、改善できる箇所がないか確認をしています。	第三者による外部評価はまだ行っていません。費用などの面で難しいところです。ただ外部の法人が行っている外部評価を拝見して必要だとは感じました。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員の強度行動障害や保育士資格取得の補助、療育に関する知識、スキルを高める為のいつでも見れる研修動画サイトやコラムの利用を行っています。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPIにて公表しております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		定期的にアセスメントシートを用いてチェックを行い、保護者のニーズ等も確認しつつ計画の作成を行っています。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管だけでなく、児童の担当職員を中心として支援に携わる職員等からも情報の共有を行い作成しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画見直し時の確認や児童の対応等に関して変更があった場合も職員間で共有するようにしています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートだけではなく外部からCP,STにきてもらいツールを用いて検査などを行っています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに則って支援計画の作成を行っています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		話し合いの場以外にもcomii等で個人にあった支援内容を出し、共有し活動プログラムの立案にあたっている。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		同じスキルを育むことをねらいにしても難易度の設定や違う活動を設定する等し、児童が楽しい気持ちで行えるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		計画の作成もだが、午前の部と午後の部を分けたり、部屋割りをする事で個別での支援も可能としており取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		特別な対応が必要な時等は前以ての打ち合わせを行う、支援のねらいや流れなどに関しては送迎や支援準備等がある為ホワイトボードで記し確認できるように工夫をしています。	準備の時間におおまかな流れなどは打ち合わせをし、ホワイトボードでねらいを記入する事で共有できるようにしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎後の連絡帳記入時間の前に振り返りを行い、次回行う際の改善点や達成できていた点等を話し合うようにしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日記録をとり、保護者の方にもその内容をPDFで送り共有しています。伝えきれない支援の改善点等も記録の他に職員間で共有できるように工夫しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者の方々にも協力してもらいモニタリングを行い、必要があれば計画の見直しを行い職員間で共有するようにしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		出来る限り児発管、担当職員での参画をするようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		病院を利用した際の情報は共有してもらうようにしています。保育、教育機関とも園からの悩みや相談、保護者から園での悩みがあった際等も支援しやすいようにしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		幼稚園に利用にあたってこちらでの支援の様子や内容等の情報共有の他に園での様子を見学しに行き話し合いの機会を設ける等しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援シート等を活用し、小学校等に行っても支援が途切れないようにしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		そのような機会があまりなく事業所内でのやり取りや研修になっています。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		行事で園等の活動に参加する事は無いが、公共施設や公園での外遊びを通して地域の子ども達や同じ場所に遊びにきていた園の子達との関りがあります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎日連絡帳のやり取りをし、支援の様子を文章だけではなく静止画や動画も使いお伝えしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		相談等対応する環境はできているが、ベアトレ等が難しい状況ではあります。保護者を対象とした外部の講習等の情報は週の予定表を送る際等にお伝えするように致します。	外部からの保護者を対象とした講習等のお知らせがあった時に毎週の活動の予定と一緒にお知らせを致します。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		登録の際にお時間をいただき児発管と一緒に確認をする流れとなっています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画を作る前に保護者の方に悩みや希望をお伺いし、それも踏まえて支援計画を作成しています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		実際に作成した物を説明を交えながら確認をもらい、保護者の同意を得るようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		LINEや電話でいつでも相談ができる環境を作っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		きょうだい同士での交流会等はありませんが、年齢や来年就学の子がいるご家庭等で分けて親子で活動を行った後、茶話会をする日を年に数回設けています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		可能な限り迅速に連絡を取り、話し合いの場を設けたり実際に園での様子を確認しに行く等の対応をさせていただいています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		年間予定と職員紹介を年度初めに行い、一週間の活動予定や、支援を受けた日の様子等をLINEを使いお伝えするようにしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き書棚を使い文書の補完をし、電子媒体のものについては持ち出しの禁止、外部顧問の職員も打ち込んだ記録データ等はその日に紙媒体で出力をし、データの削除をして貰う等しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童に対してはスケジュールやイラスト等の導入、保護者に対しては書面やLINE等いつでも確認できる形で残す、リマインドをするなどしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		行事で事業所に招待する等はありませんが、ハロウィンや夏祭り等で地域のお店や福祉館に協力してもらい活動を行う事があります	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルはHPで公表し、登録の際や更新した際に周知するようにしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの策定、避難訓練、防災グッズ等の備品の使用期限のチェック等を定期的に行うようにしています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		登録の時に確認を行い、病院等を受診した時等も何か変更がないかを都度確認を行うようにしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		おやつや調理の活動の時等も皿を分ける、名簿に忘れないようにアレルギーの内容を記入しておく等の対応をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理チェックシートを作り定期的に危険箇所等のチェックを行っている。活動中もケガの無いように曲がり角に職員が立つ、柱の周りにシートクッションを立てておくなどしています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		マニュアル等はHPで確認できる旨等を伝えてたり実際に訓練を行った際は実際に基づき避難報告の一斉LINEを送信する等している。	送迎訓練等はまだできていない。 ＜避難訓練＞の一斉LINEですとは告知したが週の予定を送る際に送る予定だという事を伝えるように致します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		屋外での活動時や日々の送迎やサービス提供時間に起きた事は職員間で共有しヒヤリハット集に記録するようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止の研修動画や確認テスト、職員のストレスチェック等を行いそのような事がないようにしています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化の指針の策定や研修等は行っているが支援計画の中での記載がなかった。	支援計画を更新していく時に身体拘束の内容を支援計画の中に記載するように致します。